



たくさんの人たちで大賑わい
おいしい秋の祭典 秋の味覚祭り開催

10月4日、木津舞茸愛好会と木津みずほ生産組合の共催、横越町等の後援により、JA亀田郷みなみ木津倉庫前で秋の味覚祭りが開催され、今回で3回目となりました。地元の生産者が持ち寄った舞茸、コシヒカリ、梨、野菜、手作り味噌など町特産品の販売のほか、ポップコーンやわたあめなどの販売、梨や長いもなどの重量あてクイズ、球根のつかみどりなどのお楽しみコーナーもあり、大賑わいとなりました。

また、きのこ汁が無料で振る舞われ、町内外から詰めかけた多くの人たちは、秋の味覚、横越の味を満喫していました。

多くのボランティアに支えられ
アニメ映画「どんぐりの家」上映会開催

10月4日、のぎくの家10周年記念行事のひとつとして、アニメ映画「どんぐりの家」の上映会がサンウィング横越で開催され、およそ200名が詰めかけました。

映画では、ろう重複障害を持つ子の親、家族、教師たちの悩み、子育ての奮闘ぶり、成長する子どもの様子を描写し、子どもの目線で接する大切さを訴えていました。

また、町生涯学習人材バンクの保育支援者が保育室を、ボランティア二本木の会が駐車場整理を、その他に連合婦人会やライオンズクラブ、横小、横中、各保育園、町内商店などがポスターやチラシ、チケット販売等で協力し、上映会を支えていました。



横越町景観再発見写真展
新潟ふるさと村で大盛況

10月13日から21日までの間、新潟ふるさと村アピール館で横越町景観再発見写真展が開催されました。

第8回景観再発見入賞作品21点、チューリップモデル撮影会入賞作品13点に加え、町の特産品の展示も行われました。

また、18日(日)には、特産品のとろろまんじゅう、鮭の味噌漬、草木染めのスカーフなどの販売や、横越町のチューリップ球根、'99横越町ふるさとカレンダーのプレゼントも実施され、長蛇の列で賑わいました。



新嘗祭に使う献上米を作り
五十嵐さん夫婦が献納式に出席



十一月二十三日に皇居で行われる新嘗祭には、全国から献上された五穀(米、麦、粟、黍、豆)が使われています。毎年新潟県から米と粟が献上されてお

新潟県児童生徒科学発表会

横越中学校から田中 洋輔さん出場



十月八日に新潟・亀田・横越地区児童生徒科学発表会が新潟市で行われ、横中三年の田中洋輔さんの発表が優れていたことから、県児童生徒科学発表会への出場が決まりました。研究の動機は、中学校の天井をふと見たら、石油ストーブの

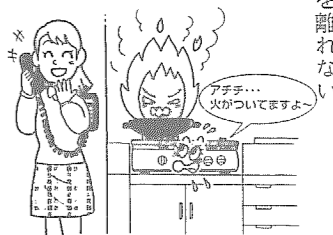
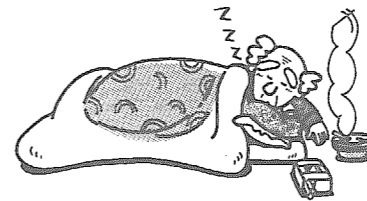
上の天井にススがしま模様に着ていたので、この現象を解明したいと思ったからでした。付着したススの様子を観察し、モデル実験を行い、仮説を立て、図書館で資料を集め、その証明実験を行うなど、今年四月から九月まで研究を続けました。田中さんは、「県大会に出場できてとてもうれしい。高校や大学などでこの現象についてもっと深く追究していきたい」と感想を述べていました。

秋の全国火災予防運動
気をつけて はじめはすべて 小さな火

十一月九日から十五日まで、「秋の全国火災予防運動」が行われます。これから寒くなり、暖房器具など火を扱うことが増えてきます。火の元には十分注意し、火災が発生しないように気をつけてください。

守るう！七つのポイント

- ① ストープには、燃えやすいものを近づけない
- ② 寝タバコやタバコの投げ捨てをしない



火災発生そのとき！
万一の出火にあわてずに

- 火災を未然に防ぐには、日頃から家族全員が防災意識を強く持っていることが必要です。地震が起き、グラツときたら確実に火元を消す！というように、的確な判断と行動力があなたの生命を守ります。ここでは初期活動の三原則を掲載します。
- 1 早く知らせる
 - 小さな火事だと思っても、「火事だー！」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければ、やかんなどを叩き、異変を知らせる。
 - 小さな火事でも一一九番に通報。
- 2 早く消火する
 - 出火から三分以内が消火できる限度。水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布でおおうなど、手近なものを活用する。
- 3 早く逃げる
 - 天井に火が燃え移ったら、いさぎよく避難する。
 - 避難する時は、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

消防署では、火災予防運動の期間中、火災を未然に防止するため、消防車で注意を呼びかけます。ご協力をお願いします。